

朝会の話（9月6日）副校長

みなさん、おはようございます。2学期が始まって1週間ですが、生活のリズムを戻すことができますか？夜遅くまで起きている人はいませんか？そういう人がいたら、早いうちに早寝早起きの習慣に戻しましょう。

この5日間で先生が感じたことは、あいさつをもう少し頑張ってもらいたいということです。先生が「おはようございます」とかけた声が、返事がないとどこかに消えてしまいます。悲しいです。

さて、各クラスの廊下には、夏休みの作品が飾られていますね。先生も一通り見て回りました。工作や絵、調べ学習などバラエティな作品が並んでいました。中には、時間をかけて調べたものあって、思わずじっくり読んでしまいました。皆さんも、ぜひ見てください。

話は変わりますが、昨日でパラリンピックが終わりました。様々な競技で熱戦が繰り広げられました。その中で、今日はこの話を少ししたいと思います。（パラリンピックの号外を見せる）

ボッチャです。パラリンピックの学校連携観戦で、2～5年生が見に行く予定だった競技です。ルールを知っている人もいると思いますが、簡単に言うと、ジャックボールと呼ばれる白いボール（目標球）を投げた後、対戦する両者がそれぞれ赤と青の6球を投げ合い、自分たちの色の球をよりジャックボールに近づけた方が勝ちとなるゲームです。ボッチャとは、イタリア語で「ボール」を意味し、障がい者のために考案されたヨーロッパ発祥のスポーツです。

この杉村選手と対戦したウォンサ選手のタイでは、障害があってもなくてもみんな楽しんでいるほど、ボッチャが盛んな国だそうです。ちなみに団体戦ではタイが金メダルで、日本は銅メダルでしたね。

金メダルをとった杉浦選手は試合後のインタビューでたびたび口にした言葉があります。1つは、「目の前の試合を一つ一つ戦っていただけでした。」つまり、先のことは考えず、目の前にあることに集中して取り組んでいた、ということです。2つめは、「この金メダルは、多くの人々の支援で勝ち取ることができた。」です。この言葉は多くのスポーツ選手が口にします。自分一人でここまでできたのではなく、多くの人々の助けがあって実現できたのです。

皆さんもまさに、この2つの言葉に当てはまると思います。先のことを考えるのはもちろん大事です。でもその前に自分がやらなければならないこと、目の前のことにしっかり取り組むことが大切です。そして、1年生は6年間、6年生は12年間、保護者の方をはじめ、学校や地域の方などたくさんの方々の助けがあってここまで成長しています。そのことに感謝をして日々過ごしてほしいと思います。週末は、また夏の暑さが戻ってくるという予報も出ています。体調に気を付けて元気に生活してください。